

みんなで支える森林づくり北信地域会議（第1回） 概要

- 1 開催日時 平成21年7月14日（火）午前9時00分から10時30分まで
- 2 開催場所 北信合同庁舎 講堂
- 3 出席者 委員6名（原委員、桑原委員、竹節高四郎委員 欠席）
竹節 義孝 山ノ内町長
原 修一郎 北信州森林組合高森副組合長代理出席
宮崎 正毅 NPO 法人北信州の森林と家をつなぐ会
川久保 あけみ みどりの少年団北信地区協議会長
山崎 義雄 瑞穂地区有害対策協議会長
笹岡 洋一 指導林家
報道 北信ローカル
傍聴等 一般傍聴者なし、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、
栄村、北信州森林組合、栄村森林組合（オブザーバー出席）
- 4 開 会
(1) あいさつ 佐藤地方事務所長
(2) 委嘱状の交付
川久保委員、山崎委員
- 5 会議事項
(1) 長野県森林づくり県民税活用事業の平成20年度実績について
(2) 長野県森林づくり県民税活用事業の平成21年度計画について
(3) 意見交換

(市町村・森林組の担当者もオブザーバー出席し、各事業の進捗状況等について補足説明)

主な意見

森林整備が促進されていることは実感できるが、何の事業で整備されたか判らない。
県民税を活用した事業であることを目で見ると判るように更なるPRが必要である。PRすることにより、県民が森林税の使われ方について理解が深められるとともに、近隣の森林所有者についても森林整備を進めるうえで波及効果が期待される。

緑の少年団活動は、学校のカリキュラム多忙化の中で、型にはまった活動が主になり、もう一步発展させた子供たちが森林に関心を持つような活動の工夫が困難となっている。

木育推進事業は、未来を見据えた時、教育活動の一環として体験する事は、子供たちの未来、個々の生き方の中で大切な活動であり、このような活動をとおして森林に関心を持つよう、各校においても積極的な取組ができるような仕組みを検討願いたい。

活用事業の予算が不足することがないよう、やる気がある地域には予算の確保をお願いする。

本年、学友林の森林整備を実施する。平成 22 年度、小学校の統合もあり、全校で間伐材を使用した思い出づくりを行いたい。

間伐を推進するうえで最大のネックは間伐材の活用である。地域材を地域内で使用する取組が必要である。

学校教育の中で「木育」活動の定着が環境・情操教育の観点から必要である。

昨年度実施された里山整備は、大面積で実施され生活地域からも見え、地域住民から好評である。活用事業による森林整備の更なる推進をお願いする。



地域会議開催状況